

第〇学年 外国語活動指導案【移行期間用 Tokushima モデル】

授業を構想する上で大切な役割をもつものです。児童の姿を具体的にイメージしながら作っていきましょう。

日時 〇〇年〇月〇日 (〇) 〇校時
 指導者 HRT 〇〇 〇〇
 ALT 〇〇 〇〇
 場所 〇〇〇〇教室

1 単元名 〇〇〇〇〇 児童のこのUnitでのゴールの姿が表れるような単元名を考えてみましょう。

2 単元について
 ○児童観
 本学級の児童は、～で、～な経験をしている。外国語活動に対する意識は～。
学級の児童の実態、これまでの学習経験、児童に付けさせたい単元のねらい等を書く。

○単元観
 本単元では、～な題材を設定し、～な教材を使って指導にあたる。
この単元の内容や価値等を書く。

○指導観
 本単元の指導に当たっては、第1時では、～活動をし、～させる。第2時では～。本時の指導に当たっては、～をし、～するようにする。
具体的な指導の方法等を書く。

3 単元の目標 児童の立場から書く。
 ・～しようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
 ・～に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
 ・～に気付く。(言語や文化に関する気付き)
外国語活動では、知識の定着や能力の育成を直接的なねらいとしていないので、「～することができる」「～を理解している」などの目標は設定されません。

4 言語材料
 ○表現
 ○語彙
本単元で扱う言語材料を、表現(児童の発話)と語彙(児童が使う語彙)に分けて書きます。

5 単元の評価規準
 ・～している。(コミュニケーション)
 ・～している。(外国語への関心・意欲・態度)
 ・～に気付いている。(言語や文化に関する気付き)
・単元の目標と評価規準を一致させます。
 ・全ての単元で3観点から評価しなければいけないというものではありませんが、年間では3観点からまんべんなく評価できるように計画します。
観点ごとに指導者が授業の中で求める児童の具体的な姿(目標が達成された姿)を書く。

6 単元の計画 (全〇時間) 1単位時間ごとに目標(◆)と主な活動(【 】、○)を書きます。

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】、○)	◎評価〈観点〉(方法)
1	◆・・・するとともに、多様な考え方があることに気付く。 【Let's Watch and Think】 ○映像資料を視聴し、……の違いに気付く。 → ◎多様な考え方があることに気付いている。〈気〉(行動観察、振り返りカード点検) ○□□□・ゲーム 【Let's Listen ①】 ○誰が……が好きかを聞いて線で	
□ 本 時	◆他者に配慮しながら、……しようとする。 【Small Talk】 【Let's Chant】 “What do you □□□?” 【Activity】 「□□□をしよう」 ○□□□を作成し、……し	◎相手に伝わるように工夫しながら……している。〈コ〉(行動観察、ワークシート、振り返りカード点検)

高学年では、2時間に1回程度、Small Talkを導入部分に取り入れましょう。

本時評価する活動の右側に、評価について具体的に書きます。

7 本時の活動

(1) 目標 ~しようとする。

児童の立場から書く。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準(方法)
		HRT	ALT	
2分	Greeting ・挨拶をする。	・挨拶をする。	・挨拶をする。	・英語で挨拶し、楽しい授業が始まる雰囲気をつくる。
		指導者の立場から書く。		
	Small Talk	本時のめあて		
		できるだけ早く提示し、児童と共有しましょう。 児童に学習への見通しをもたせます。		
	Review			
	Activity 1			
	Activity 2			◎ ~している。 〈コ〉(行動観察)
	Reflection ・本時の活動を振り返り、発表する。 Greeting ・挨拶をする。	・児童の振り返りについて褒めたり認めたりする。 ・挨拶をする。	・児童の振り返りについて褒めたり認めたりする。 ・挨拶をする。	◎ 毎時間の評価の観点は1つ。(多くても2つ)

【参考資料】

- ・国立教育政策研究所
「小学校外国語活動における評価方法等の工夫改善のための参考資料」 2011年11月
- ・文部科学省
「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編」 2017年7月
- ・文部科学省
「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」 2017年7月
- ・NITS 独立行政法人教職員支援機構・文部科学省
「平成30年度 小学校における外国語教育指導者養成研修」 2019年2月